

“人むすびの場” in 横浜開国博Y150

第14回 テーマ 「吉澤さんと行くヨコハマ・ヒルサイド」

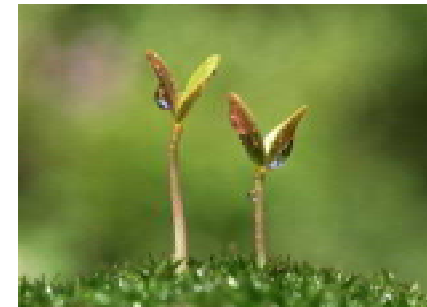
横浜開港150周年

日時	平成21年8月22日(水) 午後2時～5時
会場	横浜開国博Y150 ヒルサイドエリア
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム
共催	横浜開国博Y150, 「イマジン・ヨコハマ」 コアボランティア コーチング・ダック



人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします。



プログラム

14:00 「人むすびの場」×「イマジン・ヨコハマ」
イマジン・ヨコハマ ヒルサイドエリア フィールドワーク

案内役 : 吉澤 卓さん
(開国博Y150 市民参加ディレクター)

15:30 「ヒルサイド・カフェ」
ファシリテーター コーチング・ダック
(イマジン・ヨコハマ コアボランティア)

16:55 本日のまとめ

17:00 終了
交流会

「人むすびの場」×「イマジン・ヨコハマ」 ヒルサイドエリア フィールドワーク 案内役 吉澤 卓さん



ヒルサイドでは、公募で集った市民スタッフが創発イベントを創って、「つながり」をつくっています。この場所を終了後、どうしていくか？ 課題です。



竹の海原「つながりの広場」・「つながりのステージ」



丘の上の広場

棚田・段々畑



風の広場



いいい広場



【吉田 卓氏 紹介】 開国博Y150 市民参加ディレクター、「イマジン・ヨコハマ」事務局。ファシリテーションやワークショップづくりを原点に、愛・地球博でNPO/NGOが参加した地球市民村事務局や今回の横浜開国博Y150など、イベントを通じて街や社会に人がもっと積極的につながる機会づくりに関わってきた。



ヒルサイドエリア

2009.7.4 ~ 9.27

Y150つながりの森 有料会場

相鉄線「鶴ヶ峰駅」「三ツ境駅」またはJR・市営地下鉄「中山駅」からバスで約15分。

横浜市緑区と旭区にまたがる横浜動物の森公園の中に位置する、里山に囲まれた緑あふれるエリア。公募で集まった市民スタッフを中心となって創っていくエリアです。豊かな自然の中で、人と人、人と自然、人と地球といったさまざまな「絆」や「つながり」を感じてください。

竹の海原

つながりの森の中心にある竹の海原は、里山の自然再生のシンボル。横浜市内の竹林整備の一環として、市民のみならずともにも伐採した竹などを使用、日本最大級の竹を使った施設が誕生します。

◇竹の海原「つながりの広場」◇
竹の海原の「つながりの広場」では、市民創発プロジェクトの様々な出展が行われます。参加や体験ができるたくさんの催しが週替わりで展開されます。

◇竹の海原「つながりのステージ」◇
竹の海原「つながりのステージ」では、「つながりのダイアログ」や市民創発の様々なトークや演奏などのパフォーマンスが毎日展開されます。

標田・段々畑

段々畑は旬を感じる野菜でいっぱいになります。標田ではお米作りが体験できます。市民スタッフによるガイドツアーも行われます。

風の広場

風の広場は全ての来場者が最初に訪れる中心的な広場です。竹の東屋周辺に広がり、パフォーマンスや演奏などが行われます。

竹灯籠

横浜市内の竹林から伐採した竹を使った竹灯籠が設置されます。竹のキャンドルにより、幻想的な雰囲気にも包まれます。
(実施日限定)
場所：ヒルサイドエリア内 会場各所

丘の広場

丘の広場は会場内で最も高い位置にあり、木々に囲まれた空間です。市民スタッフが作成する竹の風車や茶室があります。様々なワークショップも展開されます。

いいい広場

いいい広場はズラシアとつながるブリッジのそばにあり、休憩や食事ができる場所です。期間中数日「ヒルサイドに巨大バツタあられる!!」も開催されます。

ヒルサイドに巨大バツタあられる!!

全長50mの巨大バツタがヒルサイドに出現します。また登場時には、劇団唐ゼミのメンバーら約50人による野外パフォーマンスが楽しめます。
(実施日限定)

つながりのダイアログ

「つながりのステージ」などで、さまざまな分野から著名なゲストを招いてのトークショーやプログラムが展開します。
(実施日限定)
場所：竹の海原「つながりのステージ」を中心とした会場各所

その日のイベント

他にも、大雨のすこさを体験できる「かみなり大王コロコロ」、150万本植樹行動の一環としての「苗木プレゼント(実施日限定)」、竹楽器作りワークショップ(実施日限定)などのイベントが満載です。

市民創発プロジェクト

「私からは始めるこれからの150年」をテーマに公募で集まった市民スタッフが自ら企画し創り上げていく、楽しく「対話・参加・体験」できるプログラムが満載です。自然・環境・共生などの様々なテーマから現在180以上のプロジェクトが準備されています。
場所：ヒルサイドエリア内 会場各所

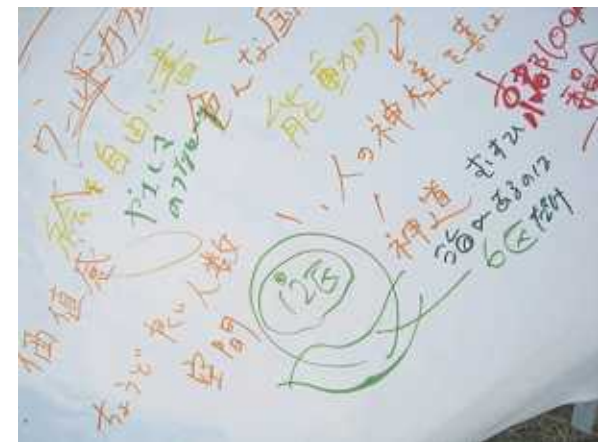
池

頭上から霧が降ってきます。また池には扇型の水のシャワーがあり、夏の涼しさを演出しています。

※各会場での具体的なイベントスケジュールはこちら→ www.yokohama150.com



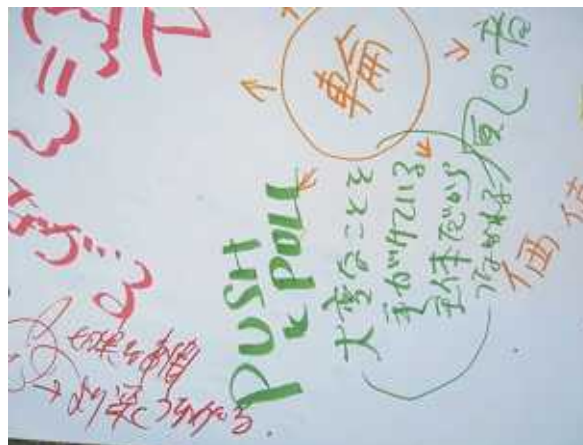
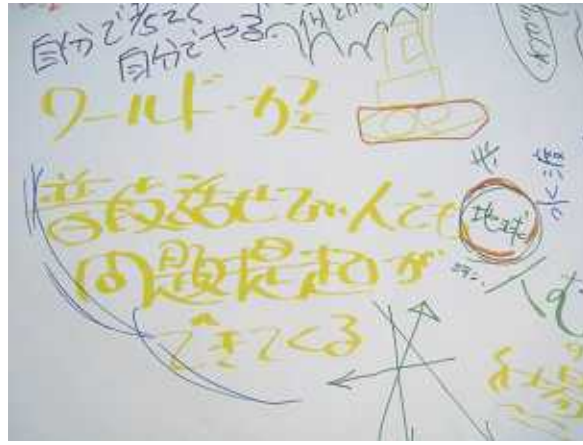
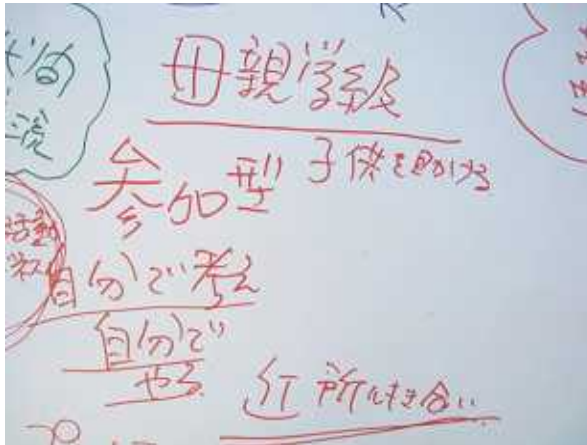
ヒルサイド カフェ





ヒルサイドカフェ

今あなたは、どのような
つながりを感じていますか？
そして私たちは、
このつながりから何が
生み出せるでしょうか？



本日の感想 - 1

* 今日、あなたの心が一番動いたのはどんな瞬間ですか？

- ・あたりまえのことをあたりまえにするとあたりまえにそうなること
- ・地球は学校だ！
- ・歩き回った挙げ句のアイスクリーム
- ・3つ目のラウンド
- ・「ある」アル、在る、有る つながり 一体感
- ・今ここで何かをやっている人、集まった人の中に新しいことを創ろうと
している人がいて、その心を聞いた時
- ・自然の中の解放感 自然とのつながり
- ・世代を超えたつながりが素朴で心地よい
- ・みんな楽しんでいる
- ・自然の空気、風、草のこちよさ
- ・みんなの表情が生き生きとしている！

本日の感想 - 2

* 今日、あなたの心が一番動いたのはどんな瞬間ですか？

- ・子供の目が輝いている！
- ・目を閉じてヒルサイドの風を感じた時
- ・ヒルサイドでワールドカフェに参加出来た！
- ・Y150で人のつながりをきかけとした面白い取り組みをやっていると
- ・子供の笑う顔
- ・昼の顔がみんな違う。
- ・「自然」の中で語り合う環境を作れましたね。
- ・Y150イベントサイトのシチュエーションが自分の自然への回帰する心、青春時代の情熱が呼び戻された時。

本日の感想

* 今日、あなたが気づいたこと、発見したことはどんなことですか？

- ・横浜にこんなところがあるなんて
- ・予報士は気づきと刺激を提供できる！？
- ・場が似たにおいの人を集めている
- ・みなさんと初めて会った気がしない。未来を作っていく仲間。
一人一人のキャラクタが財産。
- ・何かやりたいことがあってそれを例えばY150のような場で「やってみる」
「踏み出してみる」ことで形になる。
- ・土地にも、人にも、そしてときにもご縁があり、必然的に出会う。
- ・一步踏み出す場の大切さと、それを伝えることの難しさ。
- ・風、草、土、水……自然の中でのセッションも面白い。
- ・COREな思い+きっかけ+出会い+場で何かが生まれる なにかが起きる。
- ・初参加！これがワールド・カフェ！
- ・外で話すと気持ちいい。
- ・気づきとは空間の場の雰囲気左右される。
- ・たぶんこういうつながりをヒルサイドの企画の中でやったらおもしろい。
- ・古代のつながりは自然の中に在り、現在のつながりはワールド・カフェにあることを発見した。！

本日の感想

～ イマジン・ヨコハマ！ ～

素晴らしい未来のヨコハマを想像してください

* 未来のヨコハマが持っている他にないような特徴や強みは何でしょうか？

- ・開放性
- ・自然
- ・多様性のある豊かさ
- ・許容、懐の深さ
- ・イメージの良さ
- ・こういうイベントを形にして実行する人がいること。そしてそれを実行する場所(都会も人も森も)がある。
- ・さまざまな地域性と豊富な人的資源があること。
- ・民力度の高さ
- ・横浜に住んでいない人も一緒にまちづくりに参加したくなる魅力を感じます。
- ・誰もが一步を踏み出すことの出来るまち。
- ・こういう場があり、人が育っていくこと
- ・今日は横浜について話さなかった。
- ・市民力 つまり市民が自分の土地を愛すること
- ・地域が一体となってイベントを開催する推進力。

* 未来のヨコハマは、私たちにとってどんな存在であり、何をもたらしてくれるのでしょうか？

- ・オープンな場
- ・個性と刺激　・洗練されたもの
- ・発信基地。エコ、平和、つながりの拠点！！
- ・かつてそうだったように新しい扉を開く。
- ・新しい試みのストーリーと成果を発信してくれることでいろいろな人の「一歩踏み出す気持ち」の後押しをすることが出来る。
- ・新しい参加や協働の形(市民の力を生かした)
- ・生きる力
- ・質問が難しいなあ。
- ・ひとりひとりのテーマが形になってそれが人々の暮らし支え、充実させてくれる存在。
- ・他の都市とのつながりをつなぐ。つないで欲しい。
- ・もっと人と人の対話が生まれやすい場になってくれるといいですね。
- ・母親的存在
- ・y150のイベント後、みんなが気軽に遊びに来れるランドマークとなるのでは？

皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。

